

日本海から大山山頂へ——

SEA TO SUMMIT 2009



かい け だい せん
皆生・大山 9/19 SAT -20 SUN

海で発生した水蒸気が、雨や雪となって山に降り、川となって森や里を潤し、再び海へと還ってゆく…。「SEA TO SUMMIT」は、海から山へと自力で進むなかで自然の循環を体感し、自然の大切さについて考えようというイベントです。

KAYAK 6km

BIKE 19km

HIKE 3.5km



KAYAK



BIKE



HIKE

主催／皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会（事務局／株式会社モンベル）
後援／鳥取県、米子市、大山町、日吉津村

オフィシャルウェブサイト <http://www.montbell.jp>

大会長挨拶



鳥取県知事
平井 伸治

皆生・大山 SEA TO SUMMIT に寄せて

皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2009が盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、御参加いただいた皆様を心より歓迎申し上げます。

シーカヤックで海からスタートし、自転車で里を走り抜け、最後は徒歩で山頂を目指すSEA TO SUMMIT。このような大会を日本で開催するのは、本大会が初めてとなります。そしてスタート地点である皆生温泉は、日本のトライアスロンの発祥の地でもあります。1981年、皆生温泉開湯60周年を記念するイベントを企画した際、「どうせやるなら日本で一度もやっていないスポーツを」との意気込みで実現したのが、日本初のトライアスロン大会でした。同じ皆生温泉から、約30年を隔てた今、ふたたび新しいイベントが、まさに生まれる瞬間に立ち会える喜びを、大会御参加の皆様とともに分かち合いたいと思います。

21世紀は「環境の世紀」といわれています。鳥取県では、「人と社会と自然との共生」をテーマに「環境日本一」を目指し、県民、企業及び行政の主体的な参加と協働による環境活動、豊かな自然の保全、自然エネルギーの導入などさまざまな取組を展開しています。皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2009は、単なるスポーツイベントにとどまらず、自力で海から山へと進む中で、自然を感じ、自然の大切さを考えようという「環境イベント」でもあります。

本大会への参加を通じて、鳥取県の豊かな自然と、全国一人口が少ない県ならではの人の温かさを感じていただければ幸いです。そして今回鳥取県にお越しいただいた皆様には、是非、良い思い出を作ってください、またこれを機に、鳥取県のファンになっていただけることを、強く願っています。

終わりに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた皆様に深く感謝を申し上げ、参加者の皆様の御健闘と、この大会を通じて多くの人々が出会い、交流の輪が広がることを祈念して、御挨拶とします。

実行委員長挨拶



米子・大山観光大使
モンベル代表
辰野 勇

大いなる伯耆の恵み 山里海に 皆生かされる

日本で最初にトライアスロンが開催された「皆生」の海をシーカヤックで体感し、「妻木晩田」の太古から人々を生かした豊かな緑を自転車で駆け抜け、中国地方の最高峰大山のブナ林を登って頂上に至る。

決してスピードを競う競技ではなく、老若男女、誰もがそれぞれの体力に応じた山登りを楽しんでいただきたいと考えています。そして「シー・トゥ・サミット」の行為が及ぼす環境への負荷を最小限にとどめる為に、今回は参加者を100組に限定させていただきました。一人一人がかけがえのない地球を肌で感じ、その大切さを多くのの人々に伝えるためのメッセージとなれば幸いです。

海・里・山をむすぶこのイベントがこの先、日本国中にその輪を広げてゆくことを祈念して、第一回大会の挨拶の言葉とさせていただきます。

皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2009 開催要綱

■ 主催
■ 後援
■ 協賛

皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会（事務局・株式会社モンベル）
 鳥取県、米子市、大山町、日吉津村
 株式会社モンベル、サントリー株式会社、ファミリー株式会社、大山パークウェイ協議会、
 とっとりコンベンションビューロー、CAMELBAK、ジャパン・ゴアテックス株式会社、
 大山ハム株式会社、株式会社ロブテックス、Nite Ize、Sun Company、HIGHGEAR、
 大山 G ビール（久米桜麦酒株式会社）、海快晴（株式会社サーフレジェンド）、セコム株式会社、
 株式会社ナリスアップ コスメティックス、コカ・コーラ ウェスト株式会社（順不同）

■ 大会期日
■ 会場

2009 年 9 月 19 日（土）・20 日（日）
 9 月 19 日 皆生海浜公園（雨天決行）
 9 月 20 日 皆生海浜公園（スタート）、大山国立公園駐車場（博労座、雨天決行）
 海のステージ【カヤック】皆生海浜公園～淀江町西原 約 6km
 里のステージ【自転車】淀江町西原～仁王堂公園～青年の家～博労座 約 19km
 山のステージ【ハイク】博労座～大山山頂 約 3.5km

■ 定員
■ 参加費
■ 参加資格

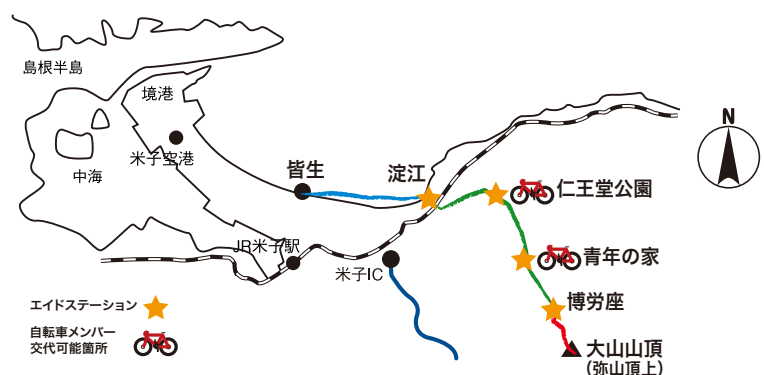
100 組
 シングル ¥10,500（税込）、チーム ¥6,500（税込）× 人数 ※環境保全協力金 ¥500 を含む
 ・健康な方で、参加者全員分のカヤック装備（PFD/ ライフジャケットを含む）、
 自転車装備（ヘルメットを含む）、水分補給のための給水用装備（ハイドレーション・システム
 など）を用意できる方
 ・シングルの部：高校生以上の方、チームの部：中学生以上の方
 ・大会事務局より大会参加承認を受けた方

■ 日程

9 月 19 日（土）	11：00～	駐車場入庫開始	
	12：00～14：00	受付（皆生海浜公園）	
	14：30～	開会式	
	15：00～	環境シンポジウム	
	16：00～	パネルディスカッション	
	17：00～	大会説明	
	17：30～	前夜祭	
	19：00	終了	
	9 月 20 日（日）	6：30～	皆生海浜公園 集合
		6：45～	選手宣誓
7：00～		大会スタート	
12：00～		大山国立公園駐車場（博労座）イベント会場オープン	
15：00～		応援イベント	
16：30～		表彰式	
17：00～		閉会式	

■ 制限時間

カヤックスタートより、
 博労座まで 5 時間以内
 大山山頂に 8 時間以内



環境シンポジウム

日時：2009年9月19日（土） 15時～17時

場所：皆生海浜公園

参加
無料

環境シンポジウムへの参加
費は無料です。どなたでも
ご参加いただけます。

基調講演 「森から未来をみる」 15～16時

C・W ニコル（作家）

大山山麓に広がる西日本最大級のブナ林に降り注いだ恵みの雨は、ミネラル分をたっぷり含んだまま里の田畑へと注ぎ、やがては美しい日本海へと辿り着きます。豊かな海の幸も、芳醇に実る農作物も、すべては大山から注ぐ水というレールで繋がっている——。作家C・W ニコル氏をゲストに迎え、森・里・海をつなぐ自然循環についてお話を伺います。



C・W ニコル

私は日本人であることを誇りに思っています。北には流氷の海、南には珊瑚礁の海をもち、言論・信仰・移動の自由があり、半世紀以上ものあいだ民主主義政府が平和を維持しています。そんな国は世界中を見渡してもまずありません。

けれど、それほど豊かで平和な日本でさえ、あらゆる面で考え方をあらためる必要に迫られています。

国土の大半が温暖気候に属する山岳地形の日本は、たっぷりの雨と良質の土に恵まれ、豊かな森林生態系をはぐくんできました。森を流れる川の流れは、酸素に満ちた冷たい水と有機物を海まで運びました。しかし、こういった川のほとんどが、浅はかな護岸工事や誤った治水計画によって破壊されてしまったのです。里山や人工林（植林地）が放置される一方で、貴重な原生林が伐採により消滅しました。

山・森・里・川、そして海へとつながるダイナミックな連環がまさに断ち切れようとしています。

私たちは川の汚染を防ぎ、サケやイワナやアユが遡上する川本来の姿を取りもどすための、専門的な知識と技術を持っています。自然環境にダメージを与えることなく持続可能な食料調達を実現し、暮らしを豊かにすることが可能です。あと私たちに必要なのは、思いやりの心と強い意志、そして献身的な行動です。

スポーツや自然を愛することは、文化や政治・歴史を超えて、人々が互いの共通点を見つけるのもっとも簡単な方法です。未来に向けて、美しい自然と人類の相互理解を取りもどすためにベストをつくしましょう。

パネルディスカッション 16～17時

【パネリスト】 C・W ニコル（作家）／平井伸治（鳥取県知事）／内田正洋（海洋緑化協会キャプテン）
【モデレーター】 辰野 勇（モンベルグループ代表／米子・大山観光大使）



C・W ニコル

英国南ウェールズ生まれ。1980年、長野県に居を定め、執筆活動が続けるとともに、1986年より、森の再生活動を実践するため、荒れ果てた里山を購入。その里山を『アフアの森』と名付け再生活動を始める。2002年、『アフアの森』での活動や調査等をより公益的な活動を全国展開するために、「財団法人 C.W. ニコル・アフアの森財団法人」を設立し、理事長となる。



平井 伸治

1974年東京大学法学部卒業。自治省入省。選挙部政治資金課課長補佐、財政局調整室課長補佐を経て、1999年鳥取県総務部長。2001年鳥取県副知事。2007年鳥取県知事選挙初当選、鳥取県知事就任。



内田 正洋

1956年長崎県大村市生まれ。海洋緑化協会キャプテン。海洋ジャーナリスト。日本レクリエーションカヌー協会理事。1987年から日本のシーカヤック界を牽引してきた。2009年海の砂漠化防止を目的とした海洋緑化協会を設立。緑の海、かつての美しい海を取り戻す活動として全国で講演会、シンポジウムを開催している。



辰野 勇

1947年大阪府堺市生まれ。1969年アイガー北壁日本人第二登を果たす。1975年株式会社モンベルを設立。2007年代表取締役会長就任。鳥取県の恵まれた自然環境のなかで「スポーツを切り口に、自然を体感しながら環境を考える」ことを趣旨に今回のイベントを発案する。

インフォメーション

会場案内・アクセス

● 【皆生海浜公園】 開会式、環境シンポジウム



アクセス

米子自動車道、
米子 IC から国道 431 号線を皆生温泉方面へ約 6 km
JR 米子駅からタクシー 10 分

● 【大山国立公園駐車場（博労座）】 応援イベント、表彰式・閉会式



アクセス

米子自動車道、溝口 IC から大山方面へ約 10 km
米子 IC から大山方面へ約 13 km
JR 米子駅からバスで約 55 分

※イベント当日、大山国立公園駐車場（博労座）はイベント会場になりますので、お車は●印の駐車場をご利用ください。

特別販売会場

- 9/19 12～19 時 皆生海浜公園にて、地元特産品および飲食の販売を行います。
- 9/20 12～17 時 大山国立公園駐車場にて、地元特産品および飲食の販売を行います。
- 9/20 10～19 時 モンベルクラブ大山店にてアウトレットセールを開催します。

公式気象情報モバイルサイト

株式会社サーフレジェンドのご協力により、イベント専用モバイルサイトが2009年9月1日よりオープンいたします。

サイト内では、大会の主要ポイントにおける気象情報について、天気はもちろん、風や波などの情報をわかりやすくご案内します。ぜひレースの参考にご活用下さい。

また、『皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2009』に関する最新情報を、このモバイルサイトより随時発信していきます。ぜひご活用下さい。

アクセスはこちらから



<http://umikaisei.jp/b2b/montbell>



● 気象情報提供ポイント

皆生海浜公園（カヤックスタート）

35°27'37"N 133°21'15"E

淀江町西原（カヤックゴール）

35°27'25"N 133°25'05"E

仁王堂公園（エイドステーション）

35°27'53"N 133°29'09"E

鳥取県立大山青年の家（エイドステーション）

35°24'54"N 133°30'12"E

大山国立公園駐車場（博労座）

（自転車ゴール／ハイクスタート）

35°23'40"N 133°31'43"E

大山山頂（ハイクゴール）

35°22'16"N 133°32'24"E

コース全体図／応援マップ



SEA TO SUMMIT 協賛団体一覧 (順不同)

mont-bell

株式会社モンベル <http://www.montbell.jp/>

総合アウトドアメーカー。「function is beauty」と「Light&Fast」をコンセプトに高機能登山用品とアウトドア用品全般の開発・製造・卸・販売を行っています。

FAMILY

ファミリー株式会社 <http://www.family-chair.co.jp/>

日本が生んだ文化的健康商品「マッサージチェア」を世界の家庭へ届けたい。そんな企業理念をもつ大山町のマッサージチェア専門メーカーです。

大山ハム DAISENHAM

大山ハム株式会社 <http://www.daisenham.com/>

受け継がれる大山の味。自然の恵みをいっばいに受けたハムやソーセージを食卓にお届けします。会場でも販売を行っておりますのでご賞味ください。

LOBSTER

株式会社ロブテックス <http://www.lobtex.co.jp/>

大山町に工場をもつ、作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・油圧工具・切削工具の製造販売を行っています。

GORE-TEX[®] PRODUCTS

ジャパン・ゴアテックス株式会社 <http://www.jgoretex.co.jp/>

身体を常にドライで快適に保つゴアテックス®プロダクト(製品)は、世界中のアウトドア・シーンで、揺るぎない信頼と実績を確立しています。

財団法人 とっとりコンベンション ビューロー

とっとりコンベンションビューロー <http://www.t-cb.jp/>

コンベンションの誘致・支援等を行い、産業の振興、地域の活性化、国際相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的に活動しています。

HIGHGEAR[®]

HIGHGEAR <http://www.highgear.com/>

高度計、気圧計、コンパスなどを搭載したアウトドア愛好家のための高機能ウォッチメーカー。

SUN

Sun Company <http://www.suncompany.net/>

アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリメーカー。

SUNTORY

サントリー株式会社 <http://www.suntory.co.jp/>

奥大山一帯の広大なブナ林によって蓄えられた「サントリー天然水(奥大山)」をエイドステーションの給水用に提供しています。

大山Gビール

大山Gビール(久米桜麦酒株式会社) <http://g-beer.jp/>

鳥取県大山の麓で湧き出る伏流水を使って仕込んだ地ビール「大山Gビール」。会場でも販売を行っておりますのでご賞味ください。

Coca-Cola West

コカ・コーラウエスト株式会社 <http://www.ccwest.co.jp/>

地域に根ざし、育まれてきた企業として、地域の皆さまと共に持続的に成長していきたい……。そんな思いで活動を続けています。

NARIS UP COSMETICS

株式会社ナリスアップ コスメティク <http://www.narisup.com/>

大阪市に本社をおく化粧品メーカー。手軽に食べられる「ちょいモグ」「ぐーびたっ」をはじめとした機能性食品を製造・販売しております。

Marine Weather 海快晴

海快晴(株式会社サーフレンジ) <http://pc.umikaisei.jp/>

2008年4月より海専門の気象情報モバイルサイトをスタート。「皆生・大山SEA TO SUMMIT 2009」専用モバイルサイトを開設し、応援しています。

大山パークウェイ Daisen Park Way

大山パークウェイ協議 <http://parkway.daisenking.net/>

「大山パークウェイ」とは蒜山から国立公園・大山を経由し美保関までを結ぶ絶好のドライブコースです。

NITE IZE INNOVATIVE ACCESSORIES

Nite Ize <http://www.niteize.com/>

アメリカに本社をおく、高輝度LEDライトアクセサリメーカー。携帯電話アクセサリやアウトドア用アイテムなど幅広く展開しています。

CAMELBAK[®]

CAMELBAK <http://www.camelbak.jp/>

20年近くにわたり、ハイドレーション技術の最先端を担ってきたブランド。ハイドレーションシステムの世界シェアNo.1ブランドとして広く知られる。

【お問い合わせ】

皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会 事務局(株式会社モンベル広報部内)

TEL/06(6531)5524 FAX/06(6531)5536 〒550-0013 大阪市西区新町 1-33-20

<http://www.montbell.jp>